

【山崎主宰の俳句】

すでに白

山崎 聰

子供のようには葛湯を吹いてあと笑う
馬嘶くその夜たくさん雪降って
一月の朝日を背負い山暮し
霰降りやまず津軽じょんがら節
雪の杣道一喜一憂して黙る
山に雪馬にも降ってつと日暮
月山はすでにして白また吹雪く
快食快眠されども北の大雪報
おおかみの吐息のような春の雪
童顔の少し崩れて春の月